

## &lt;第1回評価部会追加意見一覧&gt;

No	頁	施策	該当箇所	ご意見内容	前期基本計画における考え方・取り組み内容	後期基本計画に向けた今後の展望・考え方
1	全体	-	1 これまでの主な取り組み内容	<p>政策発信側の考えや思いは書かれているが、政策受信側(市民・ステークホルダー等)の考えや思いは読み取りにくい。よってアウトカム(成果)評価がしにくい。</p> <p>&lt;第1回目柿本委員が発言されたように、「アンケートなどは採られていますか？」に代表されるもの&gt;</p>	<p>令和3年度から令和5年度における各種の取り組みの中から、めざす暮らしの姿の実現に寄与したと考える主な取り組みについて、政策発信側の成果として簡潔に取りまとめているため、結果として、政策受信側である市民の考えや思いが読み取りにくいという委員のご意見につながったと考えます。</p> <p>また、第6次総合計画の策定に関する審議会の議論において、行政の取り組み実績と市民アンケートの結果に妥当性や関連性があるのか等、アンケート結果を施策指標として用いることは慎重にすべきとのこと意見もあり、市民意識調査の結果をなるべく施策指標としないこととしました。</p>	<p>各種取り組みの中で、サービスを利用された方の満足度調査や講座研修を受講された方の理解度調査等を実施しているものもありますので、施策指標として活用することも検討してまいります。また、行政だけでなく、市民や各ステークホルダーの考え方や思いについても分析できる評価手法の研究を進めてまいります。</p>
2	全体	-	5「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移	<p>・施策指標の推移について、たとえば7ページの「数値に関する分析」では、「相談件数の増加につながった」とあるものの、これはあくまでも「アウトプット」(政策出力)であり、大切なことは、「増加につながったことで、どういった解決(変容)が政策対象(受信)者に訪れたのか？」ということであり、当該5の指標からはそれらが読み取りにくい。</p> <p>&lt;第1回目清水委員が指摘されたように、「相談内容の中身をグルーピングなどしてみても？」を参考にされたい&gt;</p>	<p>行政の取り組みの結果には、サービスをどれだけ提供したかという『活動レベル』のものと、サービス提供によって行政目的がどれだけ達成されたという『成果レベル』ものがあり、施策指標は、取り組みの結果、“市民生活がどう変わったか”、“何が生まれたか”という点を重視した『成果レベル』の指標を設定することといたしました。あわせて、以下の考え方も踏まえて設定しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民にわかりやすい</li> <li>・数値の設定根拠が明確である</li> <li>・外的要因による影響が少ない</li> <li>・近隣市や同規模団体との比較が容易</li> <li>・計測のために過度のコストや時間を要しない</li> </ul> <p>例えば、「相談件数の増加」という指標の考え方ですが、子育て家庭が必要とする支援を実施するためには、子育てに関する相談と支援を効果的に連携させる必要があり、相談体制の整備や子育てに関する情報の周知啓発といった取り組みを実施しております。その結果として、市民が相談に行くという行動につながり、相談件数が増加したという成果が出たと考えております。</p>	<p>委員ご意見の通り、なかには成果レベルではない指標や、めざす暮らしの姿の実現に向けてどれだけ貢献できているか捉えづらい指標等もあるかと思われます。</p> <p>令和6年度に後期基本計画を策定する中で、施策指標の考え方を整理し、市民へのアンケート等も含め、成果を図ることができる指標となっているのか、見直しを図ってまいります。</p>
3	全体	-	5「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移	<p>数値はグラフ化した方が変動がわかりやすいです。</p>	<p>ご提案を踏まえ、指標の推移をグラフ化した資料をご用意いたします。</p>	
4	全体	-		<p>文字が多く、活動内容や重要ポイントが分かりにくい。追加になりますが、簡略化されたパワーポイントの資料も手元にあるとより理解しやすいと思います。</p>	<p>ご提案を踏まえ、総括報告書の概要としてまとめた「施策総括シートの概要」をご用意いたします。</p>	

No	頁	施策	該当箇所	ご意見内容	前期基本計画における考え方・取り組み内容	後期基本計画に向けた今後の展望・考え方
5	p.8	施策2	1 これまでの主な取り組み内容	めざす暮らしの姿1において、「～子どもたちが、認定こども園などでいきいきと過ごしています。」とあるが、「いきいきと過ごしています。」の定義は何か。それらに対応するかたちで、「主な取り組み内容」が設定されているか。		
6	p.9	施策2	3 後期基本計画への展望	重要課題の一つに「保育士確保支援のあり方について」とあるが、この点は今後へ向けてポイントになるうから、この辺の具体的内容について記載が必要ではないか。		
7	p.10	施策3	1 これまでの主な取り組み内容	めざす暮らしの姿1において、「～自尊感情を高め、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与しようとする子どもが育っています。」とあるが、この評価を指標1「夢を持っている児童・生徒の割合」だけでチェックできるのか。		
8	p.10	施策3	1 これまでの主な取り組み内容	めざす暮らしの姿3において、「～安全に安心して学校生活を過ごすことのできる・・・」とあるが、この目標について、「主な取り組み内容」が対応する形で設定させているか。		
9	p.10	施策3	1 これまでの主な取り組み内容	・めざす暮らしの姿3と同じく、めざす暮らしの姿4において、「すべての子どもが地域社会全体に見守られながら・・・」とあるが、これは主な取り組み内容にある「関係課による連絡会議等での検討」によって確認できることか。 ・フリースクールについての言及は、この中に含まれていないのか。		
10	p.11	施策3	4 施策評価(各年度実施計画実績)の推移	R4(2022)実績において、「スクールソーシャルワーカーの配置」について記載があるが、「一校一人」をめざすのか。		
11	p.11	施策3	5 「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移	指標4「保護者や地域の人との協働による活動を行った学校の割合」について、この活動によってどういった影響・効果がもたらされたのか。		
12	p.12	施策4	1 これまでの主な取り組み内容	・めざす暮らしの姿4の「子ども・若者が地域に集える居場所」については、「子ども食堂」といった固有名詞を用いた内容展開もあっていいかもしれない。		

No	頁	施策	該当箇所	ご意見内容	前期基本計画における考え方・取り組み内容	後期基本計画に向けた今後の展望・考え方
13	p.13	施策4	5「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移	・指標3「若者相談窓口における相談件数」において、「相談件数増」とあるが、その増加した相談内容はどのようなものか。		
14	p.42	施策19	2 内部評価(推進部局による自己評価)	「施策の総合評価に関する総括」において、7行目「特定健康診査の受診率の目標値である60%には依然として大きな乖離がある」とあるが、それはなぜか。どのように原因分析をしているのか。		
15	p.43	施策19	3 後期基本計画への展望	取り組みの一つとして、带状疱疹のワクチン接種の補助を今後の課題に検討して頂けるとありがたいです。		
16	p.43	施策19	4 施策評価(各年度実施計画実績)の推移	がん検診で胃内視鏡検査(50歳以上)があるのはありがたいが周知されていない気がします。 R5(2023)実績見込みにおいて、勸奨手法として、SMSを活用と書かれていますが、やおっぴからの情報発信だけではなく、例えば地域ネタを扱うサイト(号外NET)等を利用すると娯楽情報と一緒に目に留まりやすいのではないかと。		
17	p.46	施策21	1 これまでの主な取り組み内容	・かかりつけ医ですが、健康な人は持っていないし、病院に行く人はかかりつけ医を持っていると思うので、数値目標を設けて取り組む必要があるのでしょうか。		
18	p.47	施策21	5「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移	指標1の「中河内保健医療協議会・各種懇話会」の内容はどういったもので、それを開催した成果・効果として何がもたらされたのか。(すなわち、めざす暮らしの姿にどう貢献したのか?)		
19	p.50	施策23	1 これまでの主な取り組み内容	この施策については、施策4や施策20との関連も意識して、内容記載すべき。具体的な取り組み内容があるか。		
20	p.50	施策23	1 これまでの主な取り組み内容	めざす暮らしの姿の2に対応した主な取り組み内容のなかで、「福祉避難所への直接避難の仕組みを構築した」とあるが、大阪北部地震の際、実効的でなかったことが指摘されている。絵に描いた餅に終わらないように、今後へ向けては再度点検していく必要があるのではないかと。		

No	頁	施策	該当箇所	ご意見内容	前期基本計画における考え方・取り組み内容	後期基本計画に向けた今後の展望・考え方
21	p.51	施策23	3 後期基本計画への展望	重要課題のなかで、「重層的支援体制の充実に向け」とあるが、「アウトリーチ活動」がポイントになると思われる。課題を抱える方を具体的にどのようにキャッチしていくのか？		
22	p.52	施策24		”高齢者”とは何歳以上と定義しているのですか。75歳でしょうか。		
23	p.53	施策24	3 後期基本計画への展望	社会情勢の中で、「認知症の正しい理解の普及」や重要課題の中で「見守りネットワーク」とあるが、小・中学校の児童生徒への「認知症の方に対する声掛け教育」は想定されているか。(福岡県の大牟田方式などを参考にされたい。)		
24	p.53	施策24	3 後期基本計画への展望	重要課題における「相談体制の強化」について、オレンジパトロールを検索して、やおオレンジダイヤルの存在を知った。受付時間が平日の9時～17時だったので、月に1～2回土日も電話できれば、より相談しやすいのではないか。(「高齢者とその家族」の家族は仕事をしていると、平日のみだと電話をかけるタイミングが難しいと思う。)		
25	p.53	施策24	5「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移	指標2「住民主体活動に参加している在宅高齢者の割合」について、そもそもの割合がかなり少ない。これはなぜか。		
26	p.55	施策25	3 後期基本計画への展望	・障がいのある方について、支援学級等のある高等学校まではサポートがあるが、その後の自立方途が描きにくい。この施策については、そのあたりを見通せるものになりたい。		
27	p.57	施策26	3 後期基本計画への展望	重要課題のなかで、「アウトリーチを通じて、誰ひとり取り残さない支援を実施していく」とあるが、職員の研修はどのように展開しているのか。担当課職員だけでなく、八尾市の全職員が意識と支援技能を有するべきと思うがどうか。(神奈川県の間方式などを参考にされたい)		